

排泄ケアにおける感染予防

☆目標：排泄ケアは、直接排泄物に触れるため、感染の危険性の高いケアです。排泄ケアから施設内感染を拡大させないための方法をお伝えします。

☆キーワード：『スタンダード・プレコーション(標準予防策)』…1996年、アメリカのCDC（厚生省疾病管理予防センター）が設定した隔離予防対策のためのガイドラインをいいます。「喀痰、尿、便などのすべての生体部室には感染症ありと見なして取り扱う」という考え方。

◆ 感染症対策の基本

- ① 感染源の排除
- ② 感染経路の遮断
- ③ 宿主(人間)の抵抗力向上



排泄ケアでは①②がポイント

◆ 感染防止対策の目的

- ① 私達が媒体となって、感染症を拡大することを防ぐ。
- ② 私達自身が感染することを防ぐ。
- ③ 感染症にかかって治療している人を守る。

◆ 排泄ケアから感染を拡大させない

スタンダード・プレコーション(標準予防策)→血液や体液、排泄物などはすべて感染源となる可能性があるものとみなす。



排泄ケアは体液、排泄物に触れるケア

感染予防の意識が必要なケア

◆ 排泄ケアにおける感染予防

- ① 感染源の排除 … 感染源とは、感染症の原因となる病原体を含んでいるもの感染源として取り扱い、排除すべきもの
 - ・排泄物（便・尿・嘔吐物など）
 - ・使用済み器具・器材（オムツ・手袋・エプロンなど）
 - ・血液・体液・分泌物（血便・膿など）
- ② 感染経路の遮断 … 感染経路を遮断するには、以下の3つを守る
 - ・感染源を上げない
 - ・感染源を持ち込まない
 - ・感染源を持ち出さない

◆ 排泄ケア実施時の感染予防ポイント

- 1：手洗いまたは手指衛生 → ① ②
- 2：物品準備 → ②
- 3：バリアプレコーション → ②
- 4：手袋の着用（1ケア1手袋）→ ②
- 5：汚染オムツの処理 → ①
- 6：陰部洗浄 → ①
- 7：手袋・エプロンを外す → ①
- 8：汚染物の密封 → ①
- 9：手指衛生 → ① ②
- 10：オムツ交換 → ①
- 11：使用後のオムツ廃棄 → ①
- 12：手洗い → ① ②

3：バリアプレコーション



染を回避する

- ・エプロン(ガウン)
- ・マスク
- ・手袋
- 排泄物の直接汚染を防ぎ、感染源（尿・便）からの汚

8：汚染物の密封



汚染物の飛散などによる周囲の汚染を防ぎ、汚染の拡大を防ぐ

12：手洗い



次のケアや、外部への汚染の持ち出しを防ぎ、介助者本人も汚染から守る

◆ 排泄ケア実施時の感染予防ポイント

- ・汚染した手袋をしたままでカーテンや利用者の衣類・寝具などを触らない
- ・陰部洗浄ボトルは1人1本。ボトルの先端が陰部や排泄物に触れない
- ・汚染オムツは床やベットに放置せず、すぐに密閉する
- ・排泄ケア実施後の手洗いは、居室や食品を取り扱う場所では行わない



◆ ノロウイルス対策について

※ノロウイルスはアルコールや石鹸ではあまり効果がなく、完全に失活化する方法は次亜塩素酸 Na または加熱です。

床に嘔吐物・排泄物が広がっている場合は

- ① 取り囲むようにして汚染物を取り除く
- ② 床を次亜塩素酸 Na 希釈液で消毒（塩素濃度約 200ppm）
- ③ ビニールに入れた汚染物が浸るように 1,000ppm 次亜塩素酸 Na 希釈液を注ぐと効果的
- ④ 処理時に着用した衣類・汚染シート等は、洗濯前に次亜塩素酸 Na で浸け置き消毒する

*希釈割合については、各漂白剤・消毒剤の注意書きを参照してください

☆内容のチェック

1. 本日のキーワード（ ）

アメリカのCDC（厚生省疾病管理予防センター）が設定した隔離予防対策のためのガイドラインをいいます。

「喀痰、尿、便などのすべての生体部室には感染症ありと見なして取り扱う」という考え方。

2. 排泄ケアにおける感染予防

①（ ）の排除

尿・便・嘔吐物などの（ ）物）、オムツ・エプロン・手袋などの（ ）器具・器材、血液・体液・分泌物（血便・膿など）

②（ ）の遮断

感染源を（ ）、感染源を持ち（ ）、感染源を持ち（ ）

3. ノロウイルス対策について

ノロウイルスを失活化する方法は

①（ ）希釈液で消毒

② 食品は（ ）する

☆情報サイト☆

- ・厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

- ・厚生労働省「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/index.html>